



旅行サービスセンター

高雄駅旅行サービスセンター
09:00-18:00 (年中無休)
高雄市三民区建国二路318号
+886-7-2362710



高雄観光ネット

高雄左営駅旅行サービスセンター
08:00-20:00 (年中無休)
高雄市左営区高铁路105号(3号出口)
+886-7-8629110



まちかど観光案内所
オフィシャルサイト

高雄国際空港
旅客サービスセンター(国内線)
09:00-18:00 (年中無休)
高雄市小港區中山四路2号
+886-7-8019206



高雄市まちかど観光案内所
ラインQRコード

高雄市政府観光局
高雄市鳳山区光復路二段132号
+886-7-7995678



◎ 永安湿地 (ヨンアンしっち)

旧烏樹林塩田から生まれ変わったこの場所は、広大なマングローブ林と多様な水鳥の生息地を有する重要な生態湿地です。特に秋から冬にかけては、クロツラヘラサギやサギなどの希少な渡り鳥が多く訪れ、南北を移動する際の重要な中継地となっています。木製の遊歩道を歩けば、潮間帯の景観や自然生態を間近で観察できます。また、洪水調整機能も備えており、教育・保全・レクリエーションを兼ね備えた理想的な場所として、永安区の自然と人文の共存する風景を象徴しています。

📍 永安区塩田里永達路81号
☎ +886-7-6913037 🕒 08:00-16:30 (月曜・木曜休園)



◎ 烏樹林製塩株式会社 塩田模範村

永安にある烏樹林塩田は、日本統治時代に台湾六大塩場の一つとして発展しました。当時の高雄の富豪であった陳中和氏が設立した「烏樹林製塩株式会社」によって運営されていました。1919年に建てられたこの建物は、二階建ての洋風建築で、屋根の破風には渦巻き模様と草葉模様を組み合わせた社章が装飾されており、会社のシンボルとなっています。建物の両側には倉庫と宿舎が並び、高雄の塩業史の興隆と衰退を今に伝えています。

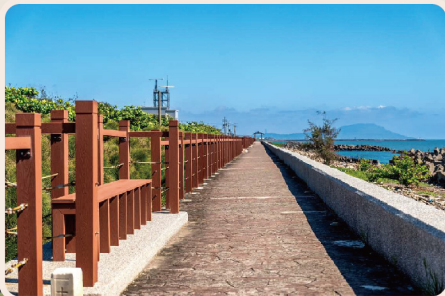
📍 永安区塩田路51号



◎ 彌陀海浜レクリエーションエリア

彌陀海浜遊楽区は、壮大な海岸の景観と多彩なレジャー設備を兼ね備えたスポットです。「ゴールデンコースト」とも称され、夕日がゆっくりと沈む頃、金色の光が波にきらめき、彌陀の海岸線を黄金色に染め上げる様子は、まるで一枚の自然画のよう。夕景を狙うカメラ愛好家にも人気の絶景スポットです。数キロにわたる海堤には遊歩道とサイクリングロードが整備されており、徒歩や自転車で漁村のゆったりとした風景や魚塩田を楽しむことができます。

📍 彌陀区光和村光和路
☎ +886-7-6191216
🕒 終日開放



◎ 南寮漁港 (なんりょうぎょう)

南寮漁港は彌陀地区の代表的な沿岸漁港で、豊かな漁獲量と素朴な漁村の雰囲気で知られています。港周辺には今も伝統的な魚市場や作業風景が残されており、海洋生活の息吹を間近に感じることができます。毎朝、漁船が帰港し、魚商が威勢よく売り声をあげる様子は、活気あふれる地元の日常を映し出します。港のそばには展望デッキや休憩スペースも整備されており、台湾海峡を遠望しながら心身をリフレッシュできます。自然と人情が交わる南寮漁港は、彌陀の漁業文化を深く知るのに最適な場所です。

📍 彌陀区漁港一路60号
☎ +886-7-6177063 🕒 終日開放



◎ 塩田彩絵村 (えんでんさいえむら)

永安湿地の向かい側、道路を挟んだ場所に位置し、伝統的な閩南 (ピンナン) 様式の家屋が整然と並ぶ地域です。素朴な赤レンガの古民家が、田舎らしい風情を一層引き立てています。永安区公所と東方設計学院が共同で「持続可能・地域性・再生」というコンセプトのもと、彩絵アートによって古民家を改修し、地域の再活性化を図りました。壁画には、塩田で働く人々、台湾の風俗文化、そして特産のハタなど、永安ならではの風景が描かれており、訪れる人々に昔の塩村文化を感じさせてくれます。青空と湿地に囲まれた素朴な街並みに、塩づくりの記憶が美しく蘇ります。

📍 永安区塩田村
☎ +886-7915-678-353 🕒 終日開放



◎ 維新彩絵村 (いしんさいえむら)

永安区で最も人口の多い維新里は、新旧の住宅が混在する地域です。建物の壁には動物をテーマにした壁画が描かれており、大きな可愛い犬やサメ、ピーナッツを食べるマーモットなどが登場します。3D技法が用いられており、訪れた人々がその場に入り込んだかのような臨場感を味わえます。

📍 永安区維新里光明10巷
☎ +886-7-6912716 🕒 終日開放



◎ 南寮海岸光廊 (彌陀漁港海岸プロムナード)

彌陀漁港のすぐ隣にある南寮海岸光廊は、海辺の風景と憩いの機能が融合した特色ある遊歩道です。ルート沿いには、海景展望台、子ども用遊具エリア、海岸通り、水上通路、防波堤の遊歩道、カラフルに描かれた堤防、3Dアートの床などが整備されており、散策しながら夕日や海と空が溶け合う絶景を楽しめます。夜になると光の装飾が海岸を照らし、昼間とはまた違った雰囲気を醸し出します。地元の人々の散歩コースとしても、旅行者の写真スポットとしても注目されている、新しい人気スポットです。

📍 彌陀区南寮路96号 🕒 終日開放



◎ 海辺暮らし新村 (クリエイティブ集落)

高雄の永安漁港のそばにある本施設は、海洋文化と生活体験を融合させた特色ある空間で、漁村の日常を感じる第一歩にぴったりの場所です。地元の漁業の物語や創作成果を展示しているほか、多彩な手作り体験やガイドツアーも用意されており、海辺の暮らしの魅力を気軽に楽しめます。親子での来訪や、スローライフを体験したい方に最適な観光スポットです。

📍 永安区新興路61号 ☎ +886-7-6911913



◎ 烏林投トレイル (ウーリントウ遊歩道)

このトレイルからは、発電所の桟橋や、多数の消波ブロックで囲まれた「リングベイ」と呼ばれる湾を一望できます。太陽の光が海面に反射してキラキラと輝く様子は、まるでダイヤモンドのように美しく幻想的です。展望台から続く遊歩道を下れば、波と戯れたり、砂浜を歩いたり、海辺のひとつきを満喫できます。夜になると、月を眺めたり星を数えたりできるロマンチックなスポットとしても人気です。

📍 永安区興達路興達巷67之5号
☎ +886-7-6913884 🕒 終日開放



◎ 漯底山自然公園

漯底山自然公園は、高雄で最も海に近い悪地地形を有する場所で、むき出しの尾根や峡谷が荒涼とした独特の風景を作り出しています。地質景観と自然生態が融合した人気の観光スポットです。日本統治時代には軍事拠点として使用されていましたが、近年自然公園として整備されました。園内の遊歩道を歩くと、台湾海峡や様々な角度からの悪地地形を眺めることができます。山頂には、かつての砲堡 (トーチカ) を改装した展望台や、360度のパノラマが広がる展望デッキがあり、地質、海景、鳥類、小崗山・大崗山を一望できます。特に夕暮れ時は、美しい風景を撮影する絶好の時間です。途中では、サンゴ礁の岩や枯れた水路、野生植物などが見られ、地質学習や自然体験に最適な場所であり、彌陀が誇る自然の魅力と生態的価値が体感できます。

📍 彌陀区漯底里山頂路
☎ +886-7-6191216
🕒 終日開放



◎ ダイヤモンドサンドベイ海岸

きめ細やかで柔らかな白砂と澄み切った青い海が広がる「ダイヤモンドサンドベイ」は、地元住民や観光客に愛される海岸スポットです。日光浴やビーチバレー、砂のお城づくりを楽しむのにぴったりで、穏やかな波と清らかな水質は、子ども連れの家族にも最適です。夕方になると、夕日がビーチ一面を温かい金色に染め上げ、幻想的でロマンチックな雰囲気が広がります。

📍 永安区新港里石斑路
☎ +886-7-6912716 🕒 終日開放



◎ 烏林投玄德宮

新港里の海岸沿いに位置するこの廟は、地元住民の信仰の中心であり、「土地公 (トゥディゴン/土地の神様)」を祀ることで知られています。参拝者がインスタントラーメンを供物として捧げ、それを自由に食べられるように残していく習慣から、「インスタントラーメンの土地公様」として親しまれています。小規模ながらも参拝客で賑わい、香煙が絶えません。お参りの後は、廟の裏にある「烏林投遊歩道」を歩きながら、美しい海の景色を楽しむこともできます。

📍 永安区興達巷67之5号
☎ +886-958-352329 🕒 06:30-22:00



◎ 呉家燕尾古厝 (ごけ・えんぴこしよ)

彌陀に残る三合院 (伝統的な三棟構造の民家) の中でも、呉家古厝は最も代表的であり、その建築様式と文化的価値は非常に高いとされています。

この建物は百年以上の歴史を持ち、「三進二院」の形式に従った日字型の四合院構造です。中央にある廳堂 (メインホール) を中心に、世代順に左から右へ、前殿・中殿・後殿と住居空間が配置され、左右には護龍 (側棟) が続きます。

📍 彌陀区中正西路92号
☎ +886-7-6191449 🕒 07:30-17:00



